

<お祝い>

祝 辞

(公財) 日本バドミントン協会
会長 綿貫民輔



日本教職員バドミントン連盟創立50周年を心よりお慶び申し上げます。連盟創立当初より今日まで50年もの長きにわたり、連盟発展にご尽力された歴代の役員・会員の皆様の労苦に対し深甚なる敬意を表します。奇しくも本年の3月には東日本を襲った未曾有の震災より多くの方々が被災されました。紙面をお借り致しまして、改めて被災された方々に対し衷心より哀悼の意を表します。又、一日も早い復興発展をご祈念申し上げます。

さて、日本教職員バドミントン連盟と私は少なからず因縁がございます。現会長の関場武先生とは慶応義塾大学の同窓でありまして、そのような関係から、ここ数年全日本教職員バドミントン選手権大会の開会式にはご挨拶をさせて頂いております。また理事長の高橋英夫先生は私どものいわば仲間でありまして、(公財)日本バドミントン協会の理事として長年本会の発展に寄与して頂き、現在も事業本部長として活躍しておられます。

日本教職員バドミントン連盟は本会傘下にある7連盟の中にあって歴史的に極めて重要な使命を担って参りました。本会の第1種大会である全日本教職員バドミントン選手権(50回)の開催を始め、競技規則書編纂、数々の指導書、ルール100問集の発刊等、我が国のバドミントン界においてその貢献度は大なるものがあります。そして何より特筆すべきは、情熱をもって真剣に取り組んで頂いたジュニア育成指導であります。先生方が手塩にかけて育ててこられたジュニア選手の中から、世界に通用する多くの一流選手を輩出してきました。そのご苦労ご尽力に心より感謝申し上げます。

最後に関係各位の変わらないご高配ご鞭撻と、バドミントンを愛する全ての皆様方のご協力をお願い申し上げますとともに、日本教職員バドミントン連盟の益々のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

<お祝い>

J E F 創立 5 0 周年によせて

(公財) 日本バドミントン協会
専務理事 関根義雄



本会の傘下7連盟の中にあつて歴史的に主要な位置を成し、数々のすばらしい功績を残してこられた日本教職員バドミントン連盟が、本年を以て創立50年をお迎えになられる由、心よりお慶び申し上げます。創立以来今日まで連盟の発展にご尽力をされた関係各位に篤く御礼申し上げます。中でも我が国の競技規則書関係の編纂は伝統として教職員連盟が担うことが多く、感謝に堪えません。

昭和36年9月30日に日本教職員バドミントン連盟は正式に日本バドミントン協会に加盟承認されました。時が経つのは本当に早いものです。この間我が国のバドミントンの普及発展に非常に大きな足跡を残されましたことは誰もが知るところであります。連盟創立当時の初代会長栗本義彦氏(当時日本体育大学学長)は私が尊敬して止まない大先輩であります。そのような関係から、短い期間ではありましたが、私も教職員連盟の理事としてお手伝いさせて頂いたことがございました。振り返ればとても懐かしく、創立当時の初代理事長平田先生が現在も連盟の顧問としてご活躍され、また現役の一選手としてもプレーされていることは本当に嬉しく思います。

現在我が国のバドミントンの競技力向上は顕著なものがあり、昨年5月マレーシア・クアラルンプールで開催されましたトマス杯、ユーパー杯共第3位に食い込み銅メダルを獲得しました。同年3月の第100回全英選手権に於いては、男子単で田児賢一選手が44年ぶりにファイナリストとなり、準優勝に輝きました。又同年開催されたアジア大会の女子単では広瀬栄里子選手が銅メダルに輝き、「スエマエ」こと末綱聡子・前田美順組は同年のデンマークオープンで優勝し、その後数々の国際大会で実績を残し、現在世界ランキング3位という堂々の位置につけています。「イケシオ」こと潮田玲子・池田信太郎組も2011ドイツオープン優勝等、単に人気だけでなく実力も上昇しております。その他若手選手の台頭も著しくバドミントン界全体が活気に満ちております。それも全てこれらの選手をジュニア世代より手塩にかけて指導育成に励んでこられた教職員指導者の熱意の賜物と深く感謝致します。

今後の日本教職員バドミントン連盟の益々のご発展と繁栄をお祈り致します。最後になりましたが、本年3月の東日本大震災で被災された方々へ衷心より哀悼の意を表しつつ、現在も大変な生活を余儀なくされている方々の一日も早い復興発展をご祈念申し上げ50周年記念のご挨拶と致します。